

# 国労

# 蘇我運輸区分会ニュース

経済の主人公は労働者だ！

## 3・8春闘集会3年ぶりに開催

コロナ禍の影響で、一昨年、昨年と2年続けて中止となった千葉県春闘総決起集会が、3年ぶりに千葉市民会館で開催されました。

「ついでに」悪しきインフレ

主催者あいさつや、集



会アピールにもあったように、昨今何から何まで値上げの連続でした。日本の会社員の平均年収は438万円(2020年調査)、先進国の中でもかなりの低賃金であるとのこと。1996年から毎年0.6%上がっている労働生産性に対して、その労働者に支払われるべき賃金は「内部留保」「株主配当金」に姿を変え、20年以上も増えていないという実態です。でも物価は上がり続け……。その一方で大企業や資本家たちはほとんど私腹を増や

## 11年目の3・11を迎えて

前回、当分会ニュースで取り上げたのは「8年目の・・・」でした。この3年間でも、この時期が近づくと、新聞やテレビ等で特集が組まれ、否が応にも当時の記憶がよみがえります。でも、こうしたメディアの取り組みがなかったら、多くの人がこの日を素通りしてしまうような気がします。かく言う自分もきっとその一人であり、反省すべき点であります。

失われた多くの犠牲を無駄にすることなく、ひとり一人が「あの日を忘れない」「後世に伝え続けていく」ことが大事です。「あの日を忘れない」ために、某朝刊の4コマ漫画では、地震でひびの入った我が家の壁を見て「これはこのままにしておこうか」という場面があり、重いテーマでありながらもほっこりさせられました。

こうした取り組みは、ちょっとした日常の中で出来ること、それはひとり一人違ったものでも、気軽なものでもかまわないと思います。

それと並行して、いつでも起こりうる自然災害に備えて、色々な場面を想定しながら準備、シュミレーションを繰り返していくことが大事だと改めて自分に言い聞かせました。

しているのは本当に許せません。こうした所得格差を許さず、労働組合も自分たちの足元だけでなく、社会全体の底上げをしていく運動を展開すべき

だと改めて思いました。各労組からの報告 国労千葉地本も含め、6つの労組や団体から取り組みの報告がありました。気になったのは賃金に関する事以上に、パワハラや一方的な会社都合で辞めさせられていく人が後を絶たないことあります。社会的にコンプライアンスが

騒がれている昨今でも、やはり職場や会社に労働組合がないと泣き寝入りという自己解決に陥ってしまうのでしょうか。そんな中で「労働者を一人にさせない」「一人でも組合に入れる」という取り組みをしている地域ユニオンの報告で、「解雇を撤回させた」「同じ退職でも一歩でも二歩でも好条件にさせた」という報告に力強さも感じました。こういった窓口がもっともつと社会的に認識され

ばと思います。一番ショックだったのは、新聞紙上でも取り上げられた房総地区最大の病院内で起こったパワハラによる事件が、あのK田病院だとわかり驚きました。人の命を預かる病院内で、そんなことがあるとは、本当に残念でなりません。誰もが安心して働き、暮らすことが出来る社会、職場環境の改善、働く者の権利、大幅賃金改善をめざし頑張りましょう！



☆ ダイ改後の特に「乗務員勤務制度の変更」部分に関して、色々な声や情報を集めましょう！！